

住民対話で、

明日をつくる。

もくじ

- 02 ごあいさつ・もくじ
- 04 広陵町に住んでよかった
- 06 まちの子育て支援
- 08 笑顔あふれる学校とウェルビーイングな教育
- 10 生涯いつまでも健幸でいられるまちに
- 12 みんなで守る、災害に強いまち
- 14 広陵かぐや姫まつり
- 16 イベントガイド
- 18 町内の産業(靴下)
- 20 町内の産業(プラスチック)
- 22 町内の農業
- 24 広陵町立図書館
- 26 日常にとけこむ町の歴史
- 28 古代豪族の栄華を伝える古墳群
- 30 まちの交通ネットワーク
- 32 記憶が紡ぐ70年のあゆみ
- 36 おでかけマップ
- 38 もっと知ってほしい広陵町のこと

ごあいさつ

「住民対話で、明日をつくる。」をスローガンに、町民の皆さんと行政が一体となって「誰もが誰にでも優しくできる、持続可能なまち」を目指しています。

広陵町は国内屈指の古墳群である馬見古墳群を擁し、竹取物語の舞台としても知られています。また、稲作や特産品のなす、ブランドいちごの古都華をはじめとする農業、靴下産業やプラスチック産業などの製造業が盛んです。

このような、古より続く悠久の歴史と広大な緑の空間、そして近代産業とが融合するなかに日々の暮らしが共存する町です。

さらに町の魅力を高めるために、「安全・安心のまちづくり」「新しい命とその成長を応援」「教育環境の充実」「住み慣れたまちでの暮らし」「地域の基盤整備と活力ある産業」の実現と充実に努め、住みよいまちづくりを進めてまいります。

広陵町の未来である次世代、今を支える現役世代、経験と知恵が豊富な高齢世代、すべての世代の声と共に――。

この度、7年ぶりに町勢要覧を改訂いたしました。町と社会は常に変化しています。しかし、その根底に流れる私たちの優しさと穏やかさは変わりません。

本要覧を通して、広陵町の魅力を感じていただければ幸いです。

広陵町長

吉村裕之



奈良県

住み続けたい街 ランキング

1位

(令和6年・令和7年)

広陵町は、奈良盆地の中西部に位置し、大阪市まで約30kmと都市へのアクセスも良好な立地です。大東建託株式会社賃貸未来研究所による、「住み続けたい街自治体ランキング(奈良県版)」では、『自然があり住みやすい』『閑静で住環境が十分』『歳をとっても住みやすい』などのご意見をいただき、奈良県内で2年連続の1位に選ばれており、大型遊具の多い「竹取公園」や、県下最大級の広さを誇る「馬見丘陵公園」をはじめとした公園や緑、商業施設などの利便性などが評価されています。また本町は、古くから製造業が盛んであり、特に靴下産業は100年を超える歴史があり、「広陵くつした博物館」(P19)では、広陵町で生産されているオリジナル靴下を販売しています。近年では、町内唯一の酒造による、隣接する幼稚園跡地を活用して地域に開かれた「長龍ブリューパーク」のオープンや、「笑顔で出かけられるまち」の実現のため、AIシステムを活用したコミュニティバス「のーと広陵元気号」(P30)の運行を開始するなど、「ほどよく都会ほどよく田舎」なまちとして様々な施策を展開しています。



出典：大東建託株式会社
賃貸未来研究所



広陵町に住んでよかった

Profile

ご家族構成
4人家族
(本人・夫・長女・次女)

移住前のお住まい
東京

堂脇さん

ご家族に聞きました

01 移住のきっかけ

移住を考えた理由
子どもの入園を控えるにあたり、一度入った園を転園させることなく、卒園までのびのびと過ごさせてあげたいと思い、入園前のタイミングで移住を決断しました。

移住先として広陵町を選んだ「決め手」
豊かな自然と、すぐ近くに実家がある安心感から、この町を選びました。

公園が多く、きれいに整備された街並みは、のびのびと子どもを育てるのに理想的な環境です。近くにスーパードも揃っており、家族の笑顔が増えるような、日々の暮らしがしやすい場所だと感じていました。

移住前に抱いていた町のイメージと実際住んでみて
地元コミュニティに馴染めるか心配でしたが、近所の方がみんな優しく親切にしてくれたので、安心することができました。

02 暮らしについて

住んでみて感じた「良い点」「驚いた点」「町の雰囲気」
近所の方や、学校関係者が非常に親切で温かい雰囲気です。登下校の見守り体制もしっかりしており、地域全体で子どもを守る意識が高いことに驚きました。

町内でよく利用する場所

馬見丘陵公園や竹取公園、エコール・マミ、イズミヤなどです。

買い物は、一か所で済むため、利便性が高く、よく利用しています。

03 地域との関わり

近所や地域との関わりで印象的だったこと
近所の農家さんから新鮮な野菜をいただくなど、地域の方の温かさを感じています。同世代のご近所さんともBBQをするなど、世代関係なく仲良くできていることに嬉しさを感じています。

04 未来に向けて

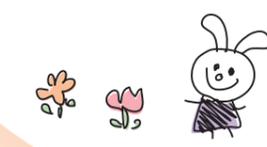
広陵町でこれから叶えたいこと
広陵町の豊かな自然の中で、子どもがのびのびと自分らしく育っていく暮らしが理想です。
子どもが将来「このまちで育って幸せだった」と思えるような温かい思い出をつくっていききたいです。

町に対して期待する取り組みなど

子どもの笑顔が溢れ、高齢の方も安心して暮らせる温かいまちづくりを期待しています。
また、将来車を手放しても移動に困らず、老人会やクラブ活動などを通じて毎日楽しく過ごせる環境を整えていただけたら嬉しいです。
すべての世代が笑顔で暮らせる、温かいまちづくりをお願いします。



Smile



町内の教育保育施設

町内には様々な特色を持った保育園、認定こども園、幼稚園があります。

町内教育保育施設一覧

- 私立** **ときわ広陵こども園**
▲広陵町大字古寺144番地1
■定員数：165人
- 公立** **真美ヶ丘第一小学校 附属幼稚園**
▲広陵町馬見南2丁目1番30号
■定員数：210人
- 私立** **馬見ヶ橋保育園**
▲広陵町大字平尾546番地
■定員数：150人
- 私立** **おひさま保育園**
▲広陵町大字笠168番地 グリーンパス2階
■定員数：19人
- 公立** **広陵西保育園**
▲広陵町馬見南3丁目9番8号
■定員数：150人
- 公立** **真美北保育園**
▲広陵町馬見北5丁目13番3号
■定員数：55人
- 公立** **認定こども園 真美ヶ丘第二小学校 附属幼稚園**
▲広陵町馬見北7丁目1番32号
■定員数：150人
- 公立** **広陵北かくやこども園**
▲広陵町大字弁財天297番地2
■定員数：220人
- 私立** **ひだまり保育園**
▲広陵町大字三吉1874番地2
■定員数：70人
- 私立** **畿央大学付属 広陵こども園**
▲広陵町大字平尾512番地3
■定員数：174人



令和5年4月に開園した畿央大学付属広陵こども園は、町内初の公私連携事業で建てられました。大学の専門教員と連携し、様々な特色をもつ子どもが安心して過ごせる環境を整備。子ども一人ひとりの個性や発達の違いを尊重するインクルーシブ教育を実践しています。マタニティクラスやこども園ベビークラスなどの子育て支援事業も含めて、地域の子育てを支えています。



地域子育て支援拠点事業

子育てをしている親は、小さい子どもを連れて気軽に出かけられる場所は少なく家にこもりがちになり地域と交流する機会が少ないものです。参加者同士が交流を深め、お子さんだけでなくパパやママ自身もお友達をつくり、子育てを楽しむ機会にしませんか？

- 1 さわやかホール なかよし広場
▲さわやかホール4階大会議室
- 2 北かくやこども園 なかよし広場
▲広陵北かくやこども園1階子育て支援室
- 3 マミついの広場
▲エコール・マミ南館2階マミホール
- 4 畿央大学付属広陵こども園 ついのひろば
▲畿央大学付属広陵こども園子育て支援室

令和8年4月オープン
ときわ広陵こども園 森の広場
▲ときわ広陵こども園子育て支援室

パパ・ママに

そっと寄り添う

まちの子育て支援

パパママクラス

広陵町ではこれからパパ、ママになられる方のためのパパママクラスを実施しています。安心して赤ちゃんを迎えられるよう、ぜひご参加ください。



奈良県初の取り組み 陣痛タクシー

陣痛時の移動の不安を解消し、安心して子どもを産み、子育ての喜びを実感することができる地域づくりの一助となることを目的としています。この事業は、町内タクシー会社協力のもと実施しています！

※利用の際は、事前に利用登録が必要です。



妊婦さん・赤ちゃん・保護者の相談

妊娠、出産や育児、栄養、発達に関する悩みについて、保健師や助産師、管理栄養士に、電話・来所・訪問により相談できます。

産後ケア事業

広陵町が委託する助産院などで、ママと赤ちゃんが助産師による心身のケアや育児のアドバイスが受けられます。

新生児訪問

赤ちゃんの成長発達やママの産後の健康・子育てについて、自宅で助産師や保健師による相談ができます。

まだある！

妊娠・出産・子育てサポート



気心知れた仲間と過ごす
笑顔いっぱい
の時間



いつまでも けんこう
生涯、健幸で
いられるまちに

オレンジカフェ
ニすもす

▲ 広陵町大字平尾566番地7

四季に応じた手作りレクリエーションを、皆さん和気あいあいと笑顔で楽しんでいます。
(お正月リース・七夕飾り・手作りおやつ・野菜作りなど)
困りごとに寄り添い、安らげる場として地域の輪を広げています。



四季に応じた
手作りレクリエーション



広陵町では、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも、自分らしく、安心して、豊かな生活を送ることが出来るまちを目指しています。
その実現に向けて、介護予防の推進や地域とながりがづくり、助け合い活動の充実を図っています。
また、認知症の有無にかかわらず、誰もが同じ社会の一員として地域をもにつくっていくことができる環境づくりを進めるため、オレンジカフェの活動支援や普及啓発に取り組んでいます。
さらに、必要な方が安心して適切なサービスを受けられるよう、多様なサービス提供体制の整備と担い手の確保・育成を進めています。

歩こう、
話そう、
笑おう。

